

一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会会長賞【住宅リフォーム部門】

リフォーム前後の写真

外観



BEFORE

AFTER



欄間の組子は既存を再利用した。 A リビングから寝室を見る



B 吹抜部は、嵌め落とし形式とし、冬季はアクリル板、夏季は簀子に取り換える。 C



アルミサッシ、化粧柱、既存雪見障子、引戸の4層 D

引戸で仕切る場合の採光は、2階床から取込む D



既存材を利用 E 耐力壁を避け、窓を設けた F

リビング - 寝室は上下の引戸で仕切る。 G

和室の床高は、椅子の高さと揃えた H

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

築50年の中古木造住宅の耐震改修で、夫婦子供2人の自邸。改修にあたり、既存瓦屋根を補修し、スケルトンにした。素朴で風合いの良い家とするため、塩ビクロスは使用せず、傷や汚れは是とし、過去の職人の手仕事が意匠となる、軸組みを表しにした新旧の時間的な重ねを考えた。耐壁は、2階カンチ部分を解消し四隅に壁を設け、直下率を高め、室内は構造用合板を表しにした。建具は既存引戸も再利用し、使い勝手と視線の遮りを自在に操作できるようにし、突然の来客等にも対応出来るようにした。日当たりが良く、明るい室内を希望していたが、南面に下屋付きであった為、2階直下部分の暗さを解消する必要があった。時間的な重ねと、構造材と建具等の物的な層の重ねを組み合わせ、豊かな空間が得られたと思う。今後、自身らで手を加え、そこで、2階床南側を吹抜・簀子とし、2階南側全面に既製品の愛着を持ってくればと思っている。の外付サッシを並べ、自然光を階下まで引き込んだ。

性能向上の特性 耐震性能、耐久性能、温熱性能、防犯性能、室内空気環境	特に配慮した事項 基礎を新設し、ls値1.5以上を確保。蟻害、腐朽部分は全て交換。既存サッシは撤去・新設し、Low-E・防犯ガラスを使用。天井・壁・床に断熱を充填。	lw 値、ls 値 リフォーム前 0.04 リフォーム後 1.52
---------------------------------------	---	---

所在地 静岡県湖西市	新築竣工年 1971 年	築後年数 50 年	施工期間 180 日間
該当工事床面積 104.75 m ²	総工事床面積 104.75 m ²	該当部分工事費 2500 万円	総工事費 2500 万円
居住者構成 65 歳以上：0 人 / 40～64 歳：1 人 / 15～39 歳：1 人 / 14 歳以下：2 人 /			

